



ぼうしゅ

芒種（5日）… 紫陽花が色付き始めます …

気温や湿度が上がり、衣替えの季節となりました。梅雨入りも間近と思われます。少し前から園庭の紫陽花も色付き始めています。入園式の式花も、今年は紫陽花をアレンジした寄植えにしてもらいました。立て看板や壁面装飾も紫陽花やカエルをあしらうという、今までにない年度初めとなりました。また、砂場の上のザクロ（柘榴）がきれいなオレンジ色の花を咲かせ始め、ポロポロと落ちた花のガクが「タコさんウイナー」のようで、子どもたちが砂場での遊びに使っています。アズの実も少しずつ色付き始めています。

## <梅子黄 うめのみきばむ 6月16日~20日>

芒種の末候は「梅子黄」です。先日から、新山造園があちこちの木の床屋さんをしています。園庭の砂場の上のザクロの隣には、梅の木があり、二つだけ梅の実が成っていて、うっすら黄色くなり始めていたところでした。しかし、翌日確認に行くと、落ちてしまっていました。ザクロは元気ですが、梅は茂り過ぎて、枝にカイガラムシがびっしりと付いており、少し樹勢が弱っている様子でした。カイガラムシが付いている枝はバサリと切り落としました。その隣のクチナシも剪定してすっきりしたので、白い花がきれいに見えるはずです。

## <初めての友達発見…>

ジャガイモ掘りをした16日に、畑の横で見付けた大きめのカメムシです。いろいろと調べてみたところ、「キマダラカメムシ」だと分かりました。



その翌日、雲梯の奥のツバキの葉っぱの裏で見付けたものは、「キマダラカメムシ」の卵と幼虫だと分かりました。白い卵から生まれたばかりだったのか、卵の周りに丸くなっている姿は、きれいで不思議で、本当に驚きました。



枝が伸びて葉っぱも茂っていて、僅かに成っていた梅の実に気付いていた人は、ほとんどいなかったのではないのでしょうか。



梅の枝にびっしりと付いているのは、カイガラムシと抜け殻のようです。これも自然の一部ですが、ちょっと共存はしたくない仲間です。



梅とザクロの隣には👉クチナシもあり、枝を少し剪定すると、きれいな白い花がはっきり見えるようになりました。

👈ツバキは園庭に数本あるのですが、特に厄介な害虫が発生しないように、時々新山造園が床屋さんをしています。